

# 江の川だより

2022.2.14

第9号

— みんなで取り組む江の川の流域治水 —

## 堤防整備や河道掘削を行っています

治水対策として、堤防整備や河道掘削を実施しています。八神地区では令和2年度に引き続き令和3年度も堤防整備を実施しています。令和4年度以降も整備を進めていきます。赤栗地区では河道掘削を実施し、約2万m<sup>3</sup>の掘削を行いました。

### 八神地区（下流）

### 八神地区（上流）

### 赤栗地区

堤防整備  
(約300m)



R3年9月時点

樋門整備

堤防整備  
(約380m)



R3年9月時点

河道掘削  
約1.6万m<sup>3</sup>



R3年9月時点

令和4年度以降  
実施予定



R4年1月時点

令和4年度以降  
実施予定



R4年1月時点

令和4年度以降  
実施予定



R4年1月時点

### 大貫・川越地区

大貫地区では令和4年より堤防の整備を開始予定です。川越地区については河道掘削を実施する予定です。

令和4年  
堤防整備開始



桜江町大貫

河道掘削予定



桜江町川越

川越大橋

大貫箇所  
(実施済)

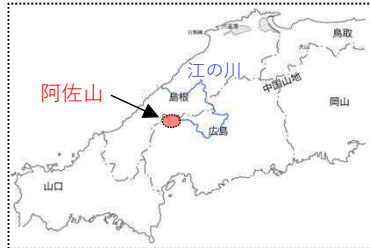


# 江の川の源流はどこにある

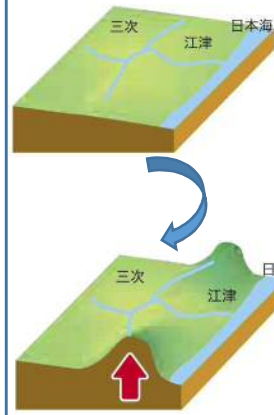


中国地方で一番長い川である江の川。江の川は広島県から中国山地を越えて日本海側に流れてきています。中国山地を越えて流れているのは、中国山地が隆起する前から江の川が日本海に向けて流れていたことに起因します（このような河川を**先行河川**といいます）。そんな**江の川の源流**はどこにあるか知っていますか？

**江の川の源流**は広島県北広島町の**阿佐山**にあります。源流と思われる場所の標高は940m付近でした。過去には源流の碑が設置してあったそうですが、令和3年の初夏に探してみたところ、残念ながら見つけることができませんでした・・・。県境をまたいですぐのところ、八戸川の源流と思われる場所も発見しました。



## 先行河川のイメージ



かつて江の川は平地をゆったりと流れ日本海に注いでいました。

中国山地が盛り上がり、高くなっても、江の川はそのまま流れ続け、中国山地を横切って流れるようになりました。

**!** 標高830m付近までは道路がありますが、そこから先は足場が悪く、たくさんの植物をかき分けて進むことになります。

危険ですので、探索する場合はしっかりと準備を！

今回の探索ルート  
推定河川流路

それらしい源流を発見。が、これは八戸川の源流。(標高930m)

江の川の源流と思われる場所を発見！(標高940m)

この先から徒歩で探索。(標高830m)

国土地理院の地図には、ここまで河川が表示されています。(標高750m)

出典：国土地理院地図

## 江の川流域治水推進室：メンバー紹介コーナー

邑南町は、江の川流域治水推進室員として総務課、羽須美支所、建設課職員が連携して関わっています。過去の水害により暫定整備された堤防等により、近年の出水では甚大な被害は免れていますが、まだ孤立化や浸水の恐れがある地域も残されています。関係機関と連携を図り、流域治水の早期整備完了に向け取り組みます。よろしくお願ひします。



(写真左から 安田係長 上田支所長)

旧三江線鉄道資産を鉄道公園として活用し、NPO法人によるトロコ列車が運行されています。車両を増やし、皆さんにご満足いただける運行を予定しています。ご期待ください！

### 問い合わせ先

〒697-0034 広島県浜田市相生町 3973  
国土交通省中国地方整備局 浜田河川国道事務所 Tel 0855-22-2480  
〒695-0011 江津市江津町672番地4  
国土交通省中国地方整備局 江の川流域治水推進室 Tel 0855-54-0377



推進室HP



浜田河川国道事務所Twitter